

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：医学系】

大 学 名	京都大学	整理番号	F - 2
拠点のプログラム名称	融合的移植再生治療を目指す国際拠点形成		
中核となる専攻等名	医学研究科外科系専攻		
事業推進担当者	(リーダー) 田中 紘一 外20名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>本拠点では、京都大学におけるES細胞研究など再生医学のユニークな研究実績と、世界から臓器移植治療研究国際拠点と評価された移植治療実績を背景にして、先端的「移植」と「再生」の臨床および基礎医学研究をさらに発展させ、新しい次世代治療パラダイムの構築を目指す。すなわち、臓器・細胞移植治療と幹細胞の再生能力を利用した治療を免疫学の基盤のうえに立脚させ、医学研究科・附属病院、再生医科学研究所の共同研究体制を敷き、治療開発研究を強力に推進させる。加えて、本拠点では若手研究者を育成し独立させるとともに、世界に通じるアジア環太平洋の教育研究および治療開発ネットワークのハブとして発展させたい。さらに、医学の限界と生命倫理との接点を大学院教育で重視し、「人を愛し、病めるものを救う」という医療の原点に共感できる情熱を持たせる教育を展開し、本COEを「科学知を社会に還元させる」ことを目指した新世紀型大学のモデルとしたい。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>リーダーが専門とする生体肝移植はすでにその実績は高い。脳死からの移植の普及が進まないわが国の現況では、腎移植、生体肝移植は、わが国の移植医療の中心となるものと考えられる。京都大学には若手の研究者も多数集まっており、ポテンシャルは高いものと考えられ、今後さらに移植医療を発展させることが期待できる。</p>			